

2025年
4月
刊行

恐竜研究は 最先端の科学へと 発展した！

近年、かつてない勢いで新たな恐竜が発見され、古生物学者は10日に1種のペースで新種の恐竜を命名している。また、最新の科学技術を応用することでも新たな知見を得ている。本書では、描き下ろしイラストを含めた豊富なビジュアルとともに、恐竜がどのように生活し、求愛し、食事をしていたのか、走る速さやコミュニケーションの方法など、この驚くべき生き物の生態について最新の発見を紹介する。

ビジュアルガイド 恐竜の 生態と行動

マイケル・J・ベントン◎著
ボブ・ニコルズ◎イラスト
久保田克博／田中康平◎監訳
喜多直子◎訳

DINOSAUR BEHAVIOR
AN ILLUSTRATED GUIDE

A4判変型・上製・224頁 定価4,620円(本体4,200円+税) ⑩ 創元社



獣脚類としての鳥類

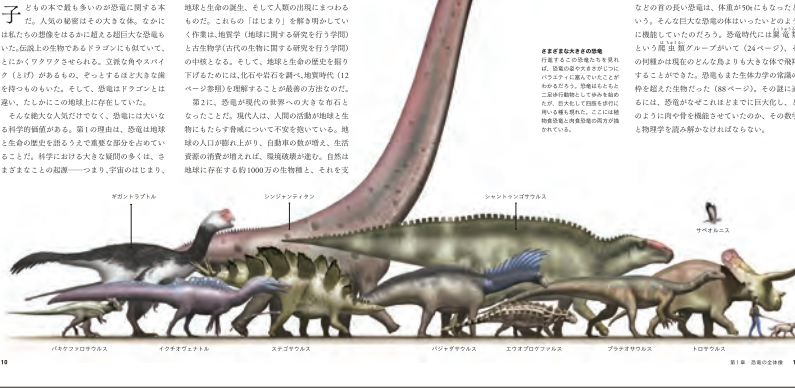
現在の鳥類も恐竜の仲間だ。つまり、私たちは現在も日常的に恐竜を目にしているということだ。鳥類はジュラ紀に恐竜から特殊な進化を経て誕生した。その進化とは体の小型化だった。



1861年、ドイツ南部で恐竜の骨とされるアーネオプトラクス(始祖鳥)の骨格が初めて見つかったとき、研究者たちはこれが鳥類の起源を説明する手がかりになると考えた。その骨格は石の大きさはほとんど同じで、羽根のつきまじりや関節の位置も鳥類に似ていた。しかし、アーネオプトラクスは鳥類と恐竜の中間的なものであった。アーネオプトラクスは鳥類と恐竜の中間的なものであった。アーネオプトラクスは鳥類と恐竜の中間的なものであった。...

恐竜はなぜ研究されるのか

子どもたちをはじめ、多くの人々に愛される恐竜だが、科学的にも注目すべき理由が3つある。人類の歴史を語るうえで恐竜が不可欠な存在であること、そして、私たちが考える生物としての意識の枠を超えた存在であることだ。



目次

- はじめに 第4章 感覚と知能
第1章 恐竜の全体像 第5章 摂食行動
第2章 生理学 第6章 社会的行動
第3章 移動運動 第7章 恐竜と人類

創元社 https://www.sogensha.co.jp/
(本社) 大阪市中央区淡路町4-3-6 TEL 06-6231-9010(代) FAX 06-6233-3111
(東京支店) 東京都千代田区神田神保町1-2田辺ビル TEL 03-6811-0662(代)

著者

マイケル・J・ベントン Michael J. Benton
ブリストル大学の古生物学(脊椎動物)の教授。王立協会会員。著書にDinosaurs: New Visions of a Lost World, Dinosaurs Rediscovered: The Scientific Revolution in Paleontology, When Life Nearly Died: The Greatest Mass Extinction of All Time、『恐竜研究の最前線』(創元社) などがある。

イラスト

ボブ・ニコルズ Bob Nicholls
世界中の博物館や大学で作品が展示されている一流の古生物復元画家。Dinosaur Art や The Complete Dinosaur など、数多くの書籍に作品が掲載されている。

監訳者

久保田克博(くぼた・かつひろ)
1979年群馬県生まれ。2002年筑波大学第一学群自然学類卒業。2008年筑波大学大学院生命環境科学研究科修士。博士号取得。現在、兵庫県立人と自然の博物館研究員。主な著書に『恐竜研究の最前線』(共監訳、2021年、創元社)、『キミならどうする!? もしもサイバール恐竜時代で生きのこる方法』(監修、2021年、ポプラ社)、『英語が聞ける! 親子で読めるののしいきょうりゅうずかん』(監修、2024年、ナツメ社) などがある。



田中康平(たなか・こうへい)
1985年名古屋生まれ。2008年北海道大学理学部卒業。2017年カルガリー大学地球科学科修士。Ph.D. 日本学術振興会特別研究員(名古屋大学博物館)を経て、現在、筑波大学生命環境系助教。主な著書に『恐竜学者は止まらない!』(2021年、創元社)、『最強の恐竜』(2024年、新潮社)、『恐竜最後の日』(監修、2024年、化学同人) などがある。NHKラジオ「子ども科学電話相談」の回答者としても活躍中。



訳者

喜多直子(きた・なおこ)
和歌山県生まれ。訳書に『恐竜研究の最前線』『恐竜と古代の生き物図鑑』(創元社)、『イヌ全史』『あなたの犬を世界でいちばん幸せにする方法』(日経ナショナルジオグラフィック)、『サファリ』『ダイナソー』(大日本絵画)、『名画のなかの猫』『名画のなかの美しいカラス』(エクスナレッジ)、『傷つきやすいのに刺激を求める人たち』(フォレスト出版) などがある。

※情報は2024年12月20日時点

大好評既刊

恐竜研究の最前線
恐竜の教科書
DINOSAURS
恐竜好きのすべての人に!
最新研究で読み解く進化の謎
ダレン・ナイシュ/ポール・バレット 著
小林快次/久保田克博/千葉謙太郎/田中康平 監訳
B5判・上製・240頁(オールカラー)
●定価5,500円(本体5,000円)⑩
The Dinosaurs Rediscovered
恐竜研究の最前線
単なる想像から科学的仮説へ
マイケル・J・ベントン 著
久保田克博/千葉謙太郎/田中康平 監訳
A5判変型・上製・352ページ
●定価4,620円(本体4,200円)⑩

(キリトリ線)

Table with 4 columns: Book Title, Price, ISBN, and Store Name. Includes titles like '恐竜の生態と行動', '恐竜の教科書', and '恐竜研究の最前線'.

【創元社WEBサイト】
https://www.sogensha.co.jp/

